



道路

主要事業

高規格道路

徳島県の道路網の骨格となる高規格道路は、県内を吉野川沿いに東西に縦断する四国縦貫自動車道、県東部の都市区域を南北に横断する四国横断自動車道、近畿圏と結ぶ本州四国連絡高速道路(神戸淡路鳴門自動車道)で構成されています。



四国横断自動車道
(徳島津田IC～徳島沖洲IC)

地域高規格道路

地域高規格道路は、四国縦貫・横断自動車道などの高規格幹線道路と一体となって高速交通体系を形成し、地域発展の核となる都市圏の育成や、地域相互の交流促進、空港、港湾等の広域交流拠点とを連結させるもので、その果たすべき機能・役割から交通の状況に応じて、路線全体としておおむね60km/h以上の速度サービスを提供できる質の高い道路です。



阿南安芸自動車道
(日和佐道路由岐IC)

交通・連携を推進する道路の整備

徳島市と各圏域の主要都市間や、これらの主要都市と周辺地域間を連絡し、交流人口の拡大や地域産業の活性化を促進するとともに、豊かな生活の実現を支援する広域交通ネットワークの整備に取り組んでいます。

安全・安心な暮らしを支える道路の整備

災害発生時における通行を確保する防災対策や、人命救助・救援物資の広域的な輸送を行うための道路整備を行うとともに、通学路等の安全対策など、安全で安心できる生活の実現を支援するネットワークの整備に取り組んでいます。

都市部の渋滞対策

自動車交通への依存度が高い徳島県では徳島市周辺における交通渋滞が深刻な状態となっています。これは、本県の幹線道路である一般国道11号、55号、192号が徳島市中心市街地でT字状に交差し、1点集中型の道路網となっていることや、吉野川をはじめとする橋梁取合部等にも局部的な渋滞が発生しているためです。

これらの道路交通問題を解消するため、一般道路及び高規格道路との連携を強化し、効率的な市街地形成、都市の健全な発展を図るため、環状道路等の整備を進めています。



一般国道11号渋滞状況

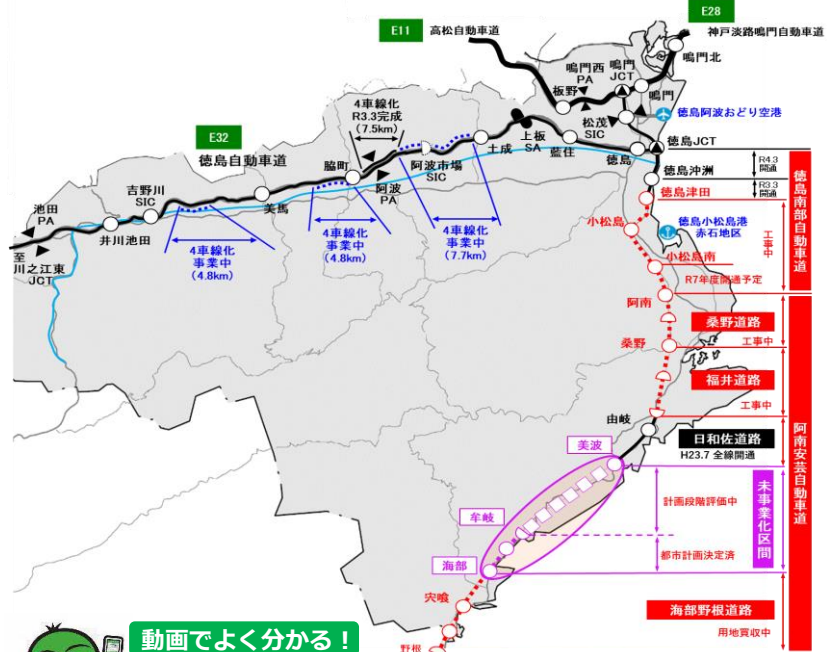
注目ポイント

四国8の字ネットワークの整備

地域経済の効率化や観光の活性化を図り、南海トラフ巨大地震や豪雨災害発生時には迅速な救援・復旧活動支援など「命の道」となる高規格道路網「四国8の字ネットワーク」の早期整備を推進しています。

徳島県の高規格道路の沿革

昭和60年 6月	大鳴門橋 開通
昭和61年 1月	明石海峡大橋 着工
平成 6年 3月	四国縦貫自動車道(藍住IC～脇町IC) 開通
平成10年 4月	明石海峡大橋 開通により 本州四国連絡道路神戸淡路鳴門自動車道 全線開通
平成12年 3月	四国縦貫自動車道(徳島IC～川之江東JCT) 全線開通し 四国の4県都が高速道路により直結
平成13年 3月	四国横断自動車道(板野IC～高松中央IC) 開通
平成14年 7月	四国横断自動車道(鳴門IC～板野IC) 開通し 神戸淡路鳴門自動車道と連結
平成18年 2月	国幹会議により「徳島沖洲IC～鳴門IC」が会社施工方式 「阿南IC～徳島沖洲IC」が新直轄方式で整備されることが決定
平成21年 4月	国幹会議で高松自動車道が4車線化整備計画に位置づけ
平成24年 4月	会社施工方式による高松自動車道の4車線化工事 着手
平成27年 3月	四国横断自動車道(徳島IC～鳴門JCT) 開通し 四国縦貫自動車道と連結
平成28年 8月	「阿波PA付近(7.5km)」付加車線試行設置 決定
平成31年 3月	高松自動車道 全線4車線化 完成
平成31年 3月	「脇町・美馬間(4.8km)」付加車線設置 決定
令和元年 9月	「藍住・川之江東間(55km)」優先整備区間 選定
令和 2年 3月	「土成・脇町間(7.7km)」4車線化 決定
令和 3年 3月	四国横断自動車道「徳島津田IC～徳島沖洲IC」開通 「阿波PA付近(7.5km)」4車線化 完成
令和 4年 3月	四国横断自動車道「徳島沖洲IC～徳島JCT」開通
令和 6年 3月	「美馬・吉野川SA間(4.8km)」4車線化 決定

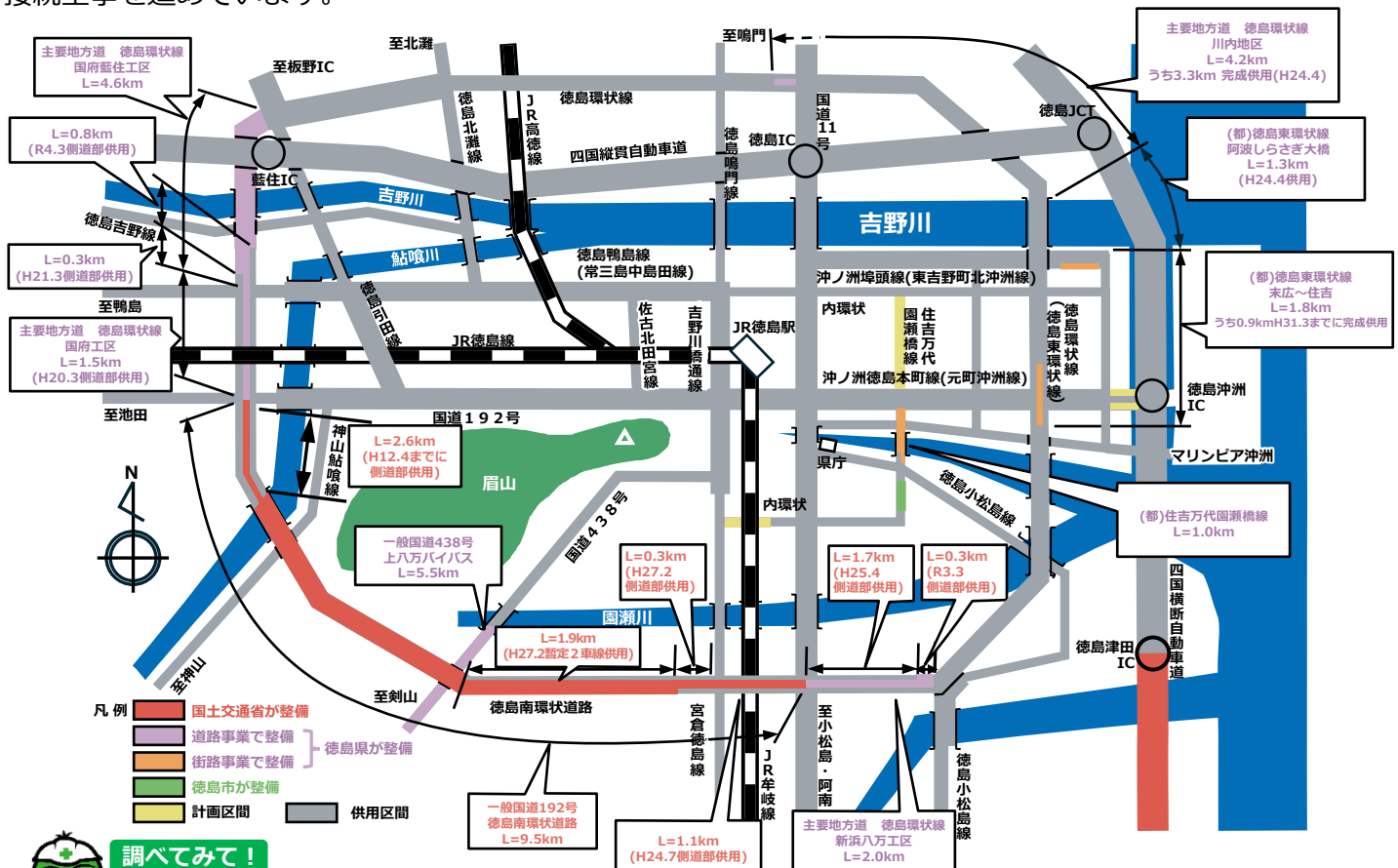


動画でよく分かる！

徳島南部自動車道(小松島南IC～阿南IC間)事業進捗状況
<https://www.youtube.com/watch?v=EeKqRH04oNM>

環状道路の整備

徳島東環状線(末広住吉工区)では、令和10年度の完成供用に向け、北から延伸する高架橋と末広大橋との接続工事を進めています。



調べてみて！

徳島東環状線 工事状況

<https://www.pref.tokushima.lg.jp/ippanokata/kendozukuri/toshikeikaku/5012048/>